

編 集 後 記

HIROINのNo. 28では、今年度更新された計算機システム及び昨年度更新されたネットワークシステムに関する特集を組みました。今回のシステムでは本格的なプライベートクラウドシステムが導入されました。一方で、パブリッククラウドシステムは、日本を含む世界各国のIT企業によってシンガポールや香港にデータセンターの建設を進められており、シンガポールと香港がアジア地域のクラウドハブとなるようです。日本からサーバが無くならないように、弘前大学のクラウドシステムを有効活用していきたいと考えております。(佐藤)

今回のHIROINには、2年間に行われた学内情報通信インフラ整備に関する内容を中心に記事が掲載されています。情報通信関連のインフラ整備は情報の収集・発信・処理等を便利にしてくれる一方で、有害コンテンツに接する可能性も高くなっています。このような中、迷惑メール対策システムの更新が行われ、迷惑メールの殆どを受け取らずにすむようになりセンターの努力に感謝します。また、図書館や情報処理演習室での端末機の増加やキャンパス全体での無線LANのアクセスポイント整備は、私の所属する床面積狭小な人文学部の学生や職員にとっては非常にありがたいです。後は整備の恩恵を受けるため少し努力をすれば。。。みんなでHIROINを活用しましょう。(大橋)

来年度の一年間、教育学部の演習室は改修工事のため狭い教室に移動されます。そのため履修人数によっては、これまで学部の演習室で行われていた授業が、総合情報処理センターの演習室を使った授業となることもあります。学生・教職員の皆さんには、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、どうか御協力をお願いします。改修後には、これまでよりも広い・快適な教室で授業を受けることができます。また、授業での教室使用に左右されることなく端末を使用できるように、内部を可動式パーティションで区切る予定です。これにより、活用しやすい演習室に生まれ変わる予定です。(櫻田)

農学生命科学部では平成14年度から毎年、卒業・修了予定者に対し「教育改善に向けたアンケート調査」を実施しています。その中に、「農生サテライト」の満足度についての項目もあり、昨年3月に実施した結果では「十分満足」「ほぼ満足」という好意的な評価があわせて約70%で、ここ数年と変わりありませんでした。しかし、記述欄には「パソコン・OSが古い、性能が低すぎる!」「端末数が少ない!」「部屋がせまい、汚い、ゴミが散乱している!」と例年になく厳しい意見が目立ちました。まず、実習室の清掃については農生・総務Gが迅速に対応しました。そして、今回の教育システムの更新により、学生の不満はかなり解消されるはずですが、残念ながら今年3月の卒業・修了生はその恩恵を受けることは少ないので、アンケート結果の改善はあまり期待できません・・・。(畠山)